

令和2年度
第1回北杜市環境審議会

会 議 録

北杜市森林環境部 環境課

令和2年度 第1回北杜市環境審議会 会議録

1 会議名 第1回北杜市環境審議会

2 開催日時 令和2年9月3日（木）午前10時00分～11時10分

3 開催場所 北杜市役所 本庁 西会議室

4 出席者（敬略称）

出席委員

仲澤幸雄、浅川一恵、三井茂、田崎尚弥、八巻美弥子、深澤みえ子、高橋勝彦、草野香壽恵、浅川正人、進藤眞夫、進藤香苗、井上安秋、赤羽素子、長坂正、切刀美津子、宮川勇人

欠席委員

藤森勇

事務局

環境課長

花輪孝

環境保全担当

谷畑祐介、田中道代

新エネルギー推進担当

日向武彦

会議録署名委員

高橋勝彦、浅川正人

5 議事

（1）第2次北杜市環境基本計画に係る年次報告について

（2）北杜市再生可能エネルギービジョンの改定について

（3）その他

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴人の数

1名

会 議

1 開会（仲澤副会長）

2 会長あいさつ（草野会長）

3 議事

（議長） それでは議事に入る。議題（１）第２次北杜市環境基本計画に係る年次報告について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局） 第２次北杜市環境基本計画に係る年次報告について説明。

（議長） この件について、質問意見などあるか。

（委員） 資料３ページの環境学習プログラム体験事業の実施回数のところに、ワクワク教室を活用してと書かれているが、今年コロナの影響でワクワク教室が中止となっている。この問題を今後どのように解決していくのか。

（議長） 私が所属している団体では、今までワークショップで行っていた子ども環境フェスタを、今年はインターネットのユーチューブを利用して動画を配信することとなった。ワクワク教室もこのまま待っていたのでは前に進まないと思うので、何かしらの形で行ったほうがよい。

（委員） 私はワクワク教室の講師をしているが、担当者より今年度ワクワク教室は中止、さらに今後どうなるかもわからないと報告を受けた。コロナ禍において、今後どうすればよいか先が見えないのが現状。

（議長） 子ども達は、学校以外でも学ぶことが大切である。何かいい方法があればと思う。

（事務局） ワクワク教室については中止だが、幼児環境教育プログラムはコロナ対策を取りながら、９月から各保育園で実施を予定している。

(委員) 資料3ページの自然観察会の開催回数のところの参加者募集については、生涯学習課で実施している、まなびの杜パスポート事業に参加した方が自然観察会の参加者にもなってもらうということによいか。

(事務局) そのとおりである。今までは環境課単独で募集をかけていたが、なかなか人が集まらないのが現状である。そのため、各部署と連携しながら募集をし、さらに講習を受けた方がまなびの杜タレントバンクへ登録し、講師として活躍できるようにしたい。

(委員) 資料2ページの一般廃棄物総排出量について、今後ごみ排出抑制につながる施策を検討する必要があると書いてあるが、現在の具体的な案はあるか。

(議長) 私も同質問をしたい。

(事務局) 昨年組成調査を行ったが、リサイクルできるものが多数可燃ごみに含まれていた。また、生ごみも水を切らずに出されていたものが多かった。そのため、広報誌などで、ごみの分別及び水切りについて周知をしていきたい。また、別荘ごみについては、可燃、不燃及び危険ごみのみ収集しており、資源物を収集していないため、再来年度の一般廃棄物処理計画の策定の際見直しを行い、ごみの排出量を抑制していきたい。

(委員) 事業系一般廃棄物が適正に分別されていないことが原因で処理施設の機械が損傷する事案が発生していると聞いた。事業系一般廃棄物の分別について、市が事業者に対して指導をすることができるのか。

(事務局) 処理施設であるエコパークたつおかで年に数回会議があり、その際、事件案件や火災案件について報告がある。その際、北杜市環境事業協同組合を通して事業者にも周知するようお願いをしている。

(事務局) 緊急案件については、エコパークたつおかよりその都度連絡をいただき、事業者に対して連絡するようにしたい。

(議長) 除間伐補助実施のところで、補助金を交付している以上は植林後の状況を何かしらの方法で確認してほしい。

また、年度途中で予算がなくなってしまうようだが、それでは目標が達成できないと思われる。そのあたりはどのように考えているか。

(事務局) 所管課に確認したところ、補助金については、補助率を下げ幅広く交付できるよう検討しているとのこと。

確認については、今年度から、植林後現地確認をしており、その後、育成状況が悪いようであれば、随時現地確認をしているとのこと。

(議長) 報告書には植林後状況を確認していないとなっているため、書き直し報告した方がよい。

また、年間160ヘクタール目標を達成するためには、補助金がいくら必要になるのか把握をしておいたほうがよい。

(事務局) 予算がなくなるという表現はあまり望ましい表現ではないため、以後気をつけるようにしたい。また、目標面積に対する予算は確保できている。それ以上に要望があった場合予算の不足が生じるため、その部分を今後検討していきたい。

また、森林環境贈与税の創設に伴い、里山整備と同じような事業として山紫水明事業を今年度からスタートしており、里山事業と同様に除間伐ができるため、併せて活用しながら目標を達成していきたい。

(議長) 他になければ(2)北杜市再生可能エネルギービジョンの改定について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 北杜市再生可能エネルギービジョンの改定について説明。

(議長) この件について、質問意見などあるか。

(議長) 資料3ページのビルエネルギーマネジメントシステムの導入のところで、案①と案②が書かれているが、まだどちらにするか決まってないということか。

(事務局) そのとおりである。現在コンサルタントの導入や石油組合の意見の聴取を行い、どちらが北杜市として取組みができるのか、どういうビジネスモデルがいいのか検討している段階。

(議長) 簡単に言えば、分散していたコミュニティエネルギーを1つにするということか。

(事務局) エネルギーの分散型ということ。例えば県内全域が停電にならないよう、避難所に再生可能エネルギーや蓄電池を用いて電気を供給可能にしたりすること。

(事務局) この計画については検討段階であり、今後は、再生可能エネルギーの電気を売りながら、公共施設に設置している再生可能エネルギー設備の保守・管理をしてもらえる会社の設立を目指したい。

(委員) この計画はとても素晴らしい。北杜市から世界に向けた温暖化防止のきっかけになる。新しい会社を立ち上げ自然エネルギーで地域を動かすことをドイツでは地域や個々の人が行っているが、それを北杜市で行うこの発想は決して消してはならない。北杜市の中核事業としてぜひやっていただきたい。ただし、計画が失敗に終わらないよう、市だけでなく、市民も一体となって取り組めるような体制を作ってほしい。また、いつまでにやり、いつまでにこういう形になるというものまで策定していただきたい。

(委員) 災害時の非常用電源設備の公共施設への導入について、長期停電が続いた場合、地域としては公民館に蓄電池があると非常に助かるため、公民館にはぜひ導入していただきたい。

(事務局) いただいた意見については計画に反映をしていきたい。また、再生可能エネルギーのみで80%の電力を賄えるということは、それだけ太陽光パネルが設置されていくということ。このパネルが廃棄物にならないよう再来年度策定する一般廃棄物処理計画に盛り込み、関連性をもたしながらマスタープランを策定していきたい。

(議長) 卒FITという問題があるが、それをぜひ活用していいプロジェクトができるよう期待している。

(委員) 卒FITとは何か。

(事務局) 電力会社が高い値段で一定期間電力を買取る固定価格買取制度があるが、その買取が終了した太陽光発電設備のこと。

(議長) 他になければ(3) その他、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 30・10運動について説明。

(議長) この件について、質問意見などあるか。

(委員) チラシを各家庭に配布したり、飲食店でも各テーブルに貼るなどそこまでやっていただきたい。

(委員) 家庭編の30・10運動は、毎月10日と30日がクリーンアップデーとなっているため、順番が逆の方がいいのでは。

(事務局) 宴会編と合わせるため、順番はこのままでいきたい。

(事務局) 市でも積極的に推進していきたいので、様々な手段で周知を行っていきたい。

(議長) それでは、以上で議事を終了する。

4 閉会(仲澤副会長)

会議終了 午前11時10分

以上、令和2年度第1回北杜市環境審議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名 _____ (印)

署名 _____ (印)